

↓ ログイン前の続きを読む

ヤギの除草、月4950円 レンタル殺到 販売予約待ち

会員記事

吉住琢二、佐々木洋輔 2020年10月29日 7時00分



【動画】ヤギがのんびり草をはむ。除草のため、レンタルされている=メ～テレ提供



今年生まれた子ヤギたち=2020年10月14日、三重県名張市八幡



た。

佐々木さんは「ガス屋になったのに、マジかよって思いました」と笑う。一年中、誰かが面倒を見なければならず、生き物相手の大変さはあるが、そのかわいさは社員誰もが認める。

ヤギには名前をつけることにしてる。情がわいて、いざ手放すときに寂しくなるからだ。

現在は計15頭のヤギを春から秋までの間、市内の3企業に「派遣」する。レンタル料金は1頭が1ヶ月4950円(税込み)だ。

工場敷地などの除草のため、ヤギをレンタルする会社が三重県名張市にある。化石燃料を使わず環境に優しいうえに、除草費用が抑えられ、癒やしの効果もあると人気は上々だ。今年から、一般家庭向きに子ヤギの販売も始めた。

名張市八幡の中西金属工業のベアリング工場を取り囲む草地の斜面で、5頭のヤギがのんびり草をはむ。同社の担当者は「業者に草刈り機で刈ってもらっていたときに比べて費用は半分以下に減り、除草効果も予想以上。子どもが見物に来るなど、癒やしにもなっている」と満足顔だ。

ヤギを貸し出しているのは、地元のガス会社とケーブルテレビ局が2011年に設立した「ソバーニ」。高齢者宅向けの緊急通報サービスなどの事業でスタートしたが、顧客の要望を受けて庭木の整理や除草にも業務を拡大。昨年からは、企業向けにヤギを使った除草サービスも始めた。

営業グループ統括マネジャーの上園慎也さん(39)は、以前に親会社で太陽光発電事業に携わったことがあり、環境問題に关心を持っていた。親会社の関係者からヤギの除草が有効だと聞いたのがきっかけで、ヤギの利用を思い立ったという。

ヤギの飼育は社員2人が担当する。社内の敷地にヤギの飼育場をつくったのが18年。事業の立ち上げから携わる佐々木優さん(23)は、親会社の名張近鉄ガスから出向する際に「飼育係」を言い渡された。

↓ ここから続き

上園さんによると、ヤギは1日4、5キロの草を食べて、1頭で約1千平方メートルの除草ができる。「人手が入りにくい急な斜面も平気で草を食べ、4月から11月ごろまで放しておけば草の伸びを抑えられます」と話す。

放す場所を柵で囲い、小屋を置いて、水と若干の配合飼料を時々与えれば、ヤギたちは除草の「仕事」をしながら、自由気ままに一日を過ごす。ふんは臭いも少なく自然に土にかえり、鳴き声も大きくないので飼育しやすいという。

ヤギたちは毎年、子を産む。その有効活用と利用者拡大を狙って、4月からは除草や愛玩用として子ヤギの販売にも乗り出した。1頭5万～6万円だが、8月までに13頭が売れた。さらに、予約待ちが18頭という人気ぶりだ。

6月に子ヤギを購入した名張市夏見の森田多津子さん(59)は「畑の除草にと思っていたが、それよりも今はかわいくて毎日の散歩が楽しみ」と目を細める。ただし、個人で飼う場合には家畜保健衛生所への報告が必要だ。また、病気になったときに診てもらえる獣医師を探しておいたほうがいいという。

上園さんは「市外の企業からもレンタルの依頼はあるが、今は急に頭数を増やせず、3企業への貸し出しで手いっぱい。環境に優しいヤギを広められるよう、要望に応えていきたい」と話している。(吉住琢二、佐々木洋輔)

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.